

## 8-4-6 道路構造物専門委員会

### 1. 主な活動の記録

- (1) 道路構造物専門委員会の開催  
専門委員会開催 10 回（定例）  
各 WG 開催：随時（保全業務 WG、品質確保（設計製作）WG、照査特別 WG、自主研究、RCCM 対応 WG、ソフトウェア WG、対外活動 WG）
- (2) 道路会社との意見交換会のための資料作成  
対外活動委員会 WG の一環として対外活動 WG が中心になり、資料作成に協力した。さらに、過年度に引き続き行われた「実務レベルの課題を解決するための実務者懇談会」に対応するため、資料の作成とともに懇談会に参画した。
- (3) 「成果品に関するエラーの事例集」の作成と品質セミナー「エラー防止のために」の開催  
技術委員会の関連専門委員会とともに平成 29 年度版『成果品に関するエラーの事例集』を作成し、『品質セミナー ～エラー防止のために～』を全国 9 支部で 10 月に開催した。当専門委員会では橋梁に関する事例収集・テキスト作成・セミナー講師を担当した。
- (4) 社会インフラメンテナンスに関わる検討  
平成 29 年度「要望と提案」に資する資料として、国道交通省、地方自治体（都道府県・政令都市）ごとの点検および補修設計業務における実態との乖離、課題に関するアンケートを各支部に依頼し取りまとめた。国交省、自治体の点検の歩掛改訂の基礎資料作成のため、土木技術研究センターと見積に関する改善の提案と資料作成について協議を実施した。  
また、維持管理対策推進特別 WG に道路構造物専門委員の立場で参加した。
- (5) 品質確保に関わる検討  
コンサルタントの品質向上を目的として「照査要領（橋梁 共通辺、上部工、下部工、基礎工、付属物、仮設工）暫定版」を作成し HP にアップを行った。また、「施工条件明示シート」橋梁（案）」を作成した。  
国総研からの依頼で、修繕設計における照査要領に対する意見の提出と、協議を実施した。
- (6) RCCM 更新教材の改訂  
RCCM 更新教材については、H29 年示方書改訂

に合わせたスライドの新規作成、練習問題の追加を実施した。

- (7) ソフトウェアに関わる検討  
「設計ソフト使用により入力ミスが生じやすい事例」について再度専門委員構成各社にアンケートを実施し、ソフト会社へ提示した。
- (8) 協会内委員会等への参画と専門委員会としての支援  
照査特別 WG、品質向上推進特別 WG、設計ソフトウェア連絡 WG、対外活動委員会 WG、維持管理対策推進特別 WG 等の協会内活動に専門委員会から委員が参画し、専門委員会での議論を通じてその活動を支援した。
- (9) その他の主な活動
  - a) 土木学会、鋼構造協会等の橋梁関連委員会等に協会委員として参加した。
  - b) 国総研からの要請に応じ、道路協会活動へ協会委員を派遣した。
  - c) 本省と日建連と協会によるガイドライン作成の委員会へ協会委員として参加した。
  - d) NEXCO 総研からの要請により、歩掛改訂の基礎資料作成の協会委員として対応をした。
  - e) 土木技術研究センターからの要請で、上部工、下部工、施工計画の設計歩掛改訂要望内容の説明資料作成するとともに、改訂のポイントについて、協会委員として協議を実施した。

### 2. 次年度の活動について

次年度も以下の活動を継続的に実施する。

- (1) 橋梁等の道路構造物に関する設計体系や報酬、構造設計技術等に係る検討、本省技術調査課等との意見交換会への参加
- (2) 関連専門委員会と連携した成果品の品質確保・向上のための活動
- (3) 国総研等との共同研究への参画
- (4) 外部協会と連携した技術力向上のための活動
- (5) 継続的な技術資料作成と会員への公開、セミナーの開催
- (6) 各種の対外活動（外部委員会への参加等）
- (7) 各種の意見照会やアンケート等への対応

（道路構造物専門委員会委員長 小林 幸浩）